

概要 要:5か年加速化対策によるライフラインの機能強化整備の実施により、公共水道が断水したにもかかわらず、断水することなく、地震発生直後より避難者を受け入れることができた。

対策名:17-1 独立行政法人施設の安全性確保等に関する対策(国立青少年教育施設)<5か年加速化対策>【文部科学省】

- 実施主体:独立行政法人国立青少年教育振興機構
- 実施場所:石川県羽咋市 国立能登青少年交流の家
- 事業概要:「広域防災補完拠点」として必要な役割を担うため、ライフラインの機能強化に必要な整備として、受水槽84m³を増設し、3日分の生活用水を確保したほか、非常用発電設備の更新や熱源設備の更新、宿泊棟への個別空調の整備を行った。
- 事業費:約2億円
- 事業実施年度:令和4年度
- 効果:

羽咋市では、震度5強を観測し、市内全域で断水となったが、当該施設は本対策により、3日分の生活用水を確保するための受水槽の整備を行っていたため、地震発生直後から避難者の受け入れを行うことができた。

その他、本対策にて、非常用発電設備や熱源設備の更新、宿泊棟への個別空調の整備等のライフラインの機能強化整備を行っていたため、広域防災補完拠点として地域に貢献することができた。

非常用発電設備の更新（避難所として必要な電力の確保）

施工前



施工後



ボイラー設備の更新（避難所として安定的な熱源の確保）

施工前



施工後



受水槽の増設（3日分の生活用水の確保）

施工前



施工後



ライフラインの機能強化整備内容

受水槽	60m ³	⇒	144m ³	貯水量140%増
非常用発電設備	42KVA (3時間連続運転)	⇒	400KVA (72時間連続運転)	連続運転可能時間 2300%増
熱源設備	279kW	⇒	279kW	宿泊棟に 個別空調を設置